

平成21年11月11日

## 四国電力株式会社伊方発電所第3号機の原子炉建屋耐震計算における入力データの誤りへの対応について

原子力安全・保安院(以下、「当院」という。)は、四国電力株式会社(以下、「四国電力」という。)から、伊方発電所第3号機の耐震安全性評価において、建設時の工事計画書記載の入力データに誤りのあったことが分かった旨の報告を受けたのでお知らせします。

当院は、発電所の耐震安全性に影響を与えるものではないと判断していますが、四国電力に対し、正しいデータを用いた評価、入力データに誤りが発生したことの原因究明及び再発防止対策を報告するよう指示しました。

### 1. 四国電力からの報告概要

四国電力は、伊方発電所第3号機の新耐震指針に照らした耐震安全性についての評価結果を当院に報告し、当院はその妥当性について確認を行っているところです。今般、(独)原子力安全基盤機構によるクロスチェック解析において、伊方発電所第3号機の原子炉建屋の地震応答解析における入力データに誤りの可能性があることが指摘されました。四国電力において確認したところ、建設時の工事計画認可申請書添付の耐震計算書に記載されている原子炉建屋の諸元(曲げ剛性)の一部に誤りがあったことが判明したため、当院に報告があったものです。

なお、四国電力によると、現在耐震バックチェックに使用しているモデルを用い、正しいデータを入力して再評価したところ、入力データの誤りによる地震応答解析結果への影響はほとんどなく、発電所の耐震安全性に影響を与えるものではないとしています。

### 2. 当院の見解

伊方3号機の建設時の工事計画(昭和61年)の審査においては、専門家の意見を聴きつつ、入力データの一部に誤りがあった解析手法とは異なる、当該データを用いない解析手法による解析を行わせました。これらの解析結果は、同様なものであることなどから、耐震安全性が確保されていることを確認しています。このため、今回の入力データの誤りは発電所の耐震安全性に影響を与えるものではないと判断しています。

### 3. 当院の対応

当院は、今回の入力データの誤りは、耐震安全性に影響を与えるものではないと判断していますが、工事計画書の添付書類に誤りがあることから、四国電

力に対し、正しいデータを用いた評価結果、入力データに誤りが発生した  
ことの原因究明及び再発防止対策を報告するよう指示しました。

別添：本件について、当院が四国電力株式会社に対応を求めた指示文書。

(本発表資料のお問い合わせ先)

原子力安全・保安院 原子力発電安全審査課長 野口哲男

担当者：青木、竹内

電 話：03 - 3501 - 1511 (内線 4861～7)

03 - 3501 - 6289 (直通)

# 経済産業省

平成 21・11・09 原院第 6 号  
平成 2 1 年 1 1 月 1 1 日

四国電力株式会社  
取締役社長 千葉 昭 殿

経済産業省原子力安全・保安院長 寺坂 信昭  
N I S A - 1 5 3 d - 0 9 - 1 1

伊方発電所第 3 号機の原子炉建屋耐震計算における入力データ  
の誤りへの対応について（指示）

原子力安全・保安院（以下「当院」という。）は、貴社から伊方発電所第 3 号機の耐震安全性評価において、建設時の工事計画書に記載された入力データに誤りのあったことが分かった旨の報告を受けた。

貴社からの報告によれば、建設時の工事計画認可申請書添付の耐震計算書に記載されている原子炉建屋の諸元（曲げ剛性）の一部に誤りがあったとしている。

当院は、貴社に対し、以下のことについて速やかに報告することを求める。

- ・正しいデータを用いた地震応答解析等の評価結果
- ・入力データに誤りが発生したことの原因究明及び再発防止対策